

第33回 「上越の大地をさぐる巡検会」

主催 地団研新潟支部高田班、新潟県地学教育研究会

- 1 タイトル：上杉謙信の春日山城を巡る－難攻不落の名城の地形・地質－
- 2 期 日：2021年9月23日（木・秋分の日）
- 3 目 的：春日山城の土台となる地層の特徴と、地形を生かした山城の造りについて学ぶ。
- 4 見学地点
 - 1 御前清水付近(9:20) 駐車場脇にある御前清水とその水源のある白山社を見学します。「愛の風層」の礫層から湧出しているようすを見ることが出来ます。
 - 2 謙信公像付近(9:40) 御前清水から20分ほど登っていくと謙信公像前の広場に着きます。この付近には「中門前層」が分布しており、道路沿いで観察出来ます。ここから、正面に春日山城本丸が望め、ひな壇状の屋敷跡が確認できます。
 - 3 春日山神社(9:50) 小川未明の父小川澄晴により1901(明治34年)に創建された、謙信公を祭神とする神社で、春日山城を巡る起点になります。
 - 4 千貫門付近(10:20) 春日山神社からの道沿いに「能生谷層」の泥岩や砂岩が礫として確認出来ます。千貫門付近には防御のための空堀があり、「能生谷層」の露頭が観察出来ます。
 - 5 本丸・大井戸(10:40) 千貫門から直江屋敷、毘沙門堂、二の丸、天守、本丸と登っていきます。道沿いには所々「能生谷層」が露出しています。泥岩層や砂岩層があり、大井戸はこれらの地層を掘り込んで造ったと考えられます。
 - 6 柿崎屋敷(11:10) 本丸から西に続く尾根に沿って、景勝屋敷、柿崎屋敷と屋敷跡が続きます。柿崎屋敷は特に広い平坦地で池の跡があり、ここから桑取道が分岐します。
 - 7 南三の丸・カメワリ清水(11:40) 柿崎屋敷から南に下ると、南三の丸の平坦地に出ます。正善寺にぬける道との分岐があります。少し下ったところにカメワリ清水があり、春日山城が水に恵まれた城だったことがわかります。
ここから、春日山城の中腹を通る道をすすみ、謙信公像前に着きます。そのまま大手道側に下ります。
- 5 集合時刻・場所 9時00分 春日山城 御前清水脇(大手道)駐車場
- 6 解散時刻・場所 12時00分 御前清水脇(大手道)駐車場
- 7 募集人員：20名(事前に申し込んで下さい。)
- 8 参加費(資料・写真等)：300円(当日受付で集めます。)
- 9 申込先：〒943-0892 上越市寺町3-4-34 上越高等学校内
山田雅晴(TEL025-523-2601)
(携帯090-3093-2408)
- 10 申込締切：9月21日(火)
- 11 服装・持ち物：全体で4kmほど歩きます。歩きやすい服装でご参加下さい。
水筒、帽子、マスク、雨具(折りたたみ傘等)
- 12 注意点：新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と密をさける行動をお願いします。当日、熱や風邪症状がある場合は欠席して下さい。